

時間割コード	K8001	ナンバリング	KY-INS-231-NIP	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	集中	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	L S T A	対象年次	4年次～4年次		
開講年度	2022年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	就業力育成・ステップアップ系科目				
担当教員（ローマ字表記）	入江 俊夫（Toshio Irie）				
シラバス用備考	【後期】				

授業題目/Title

生命倫理

授業の概要/Course Overview

生命倫理（バイオエシックス）は、地球環境をも視野に入れた生命全般に関する学際的な倫理として出発しつつも、分子生物学的な技術が医療・医学の分野で飛躍的に革新・応用され様々な倫理的問題を生み出したことから、現在では医療の倫理の観を呈している。しかしながら、農学部で開講する本講義では、これまでの生命倫理学の成果を踏まえつつ、もともとの生命倫理のコンセプトに立ち返って、技術革新による人間の行為可能性の増大に対応した新しい倫理観の構築を目指し、考えてみたい。

キーワード/Keyword(s)

遺伝子操作 動物福祉 畜産動物 自然の内在的価値 生業と倫理 倫理的葛藤 エンハンスメント生殖補助技術 延命治療 安楽死 尊厳死 臓器移植 人工中絶 出生前診断 環境倫理

到達目標/Learning Objectives

- ・生命倫理に関わる問題と概念を理解し、具体的状況において問題の所在を探りつつ、バランスのとれた思考・判断ができる力を身につける。
- ・自分の考えを論理的に表現し、相手に適切に伝える力を身につける。
- ・対話を通して問題を考えながら、他者の見方に立ったり、暗黙の前提（思い込み）を自覚する経験を通し、物事を深く考える姿勢を身につける。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第01回：ガイダンス（授業計画、成績評価、オフィスアワーなど）、生命倫理とは何か。
- 第02回～第07回：人間の「いのち」に関わる倫理的問題 —生命倫理の問題と成果
- 第02回：延命治療と安楽死・尊厳死
- 第03回：脳死と臓器移植
- 第04回：生殖補助技術の進歩
- 第05回：出生前診断という問題
- 第06回：中絶という選択の持つ意味
- 第07回：増強的介入（エンハンスメント）の問題 —デザイナーベビー
- 第08回～第15回：「いのち」に関わる倫理的問題 —生命圏の生命倫理へ
- 第08回：遺伝子操作にまつわる倫理的問題
- 第09回：動物解放・動物の権利・動物福祉に関する議論
- 第10回：実験動物と人間の生命
- 第11回：畜産動物にまつわる倫理的問題について
- 第12回：自然はそれ自体で価値を持つのか —非人間中心主義
- 第13回：生業と倫理 —弱い人間中心主義

第14回：生産現場で生じる倫理的葛藤

第15回：生命・環境・人間—新しい倫理の構築に向けて

【アクティブラーニング】

授業内容や配布資料について考えたことを表明し、議論してもらいます。このトピックの大半は明確な答えがないので、自分と対立する意見を尊重しつつ、自分の意見の根拠を探り、自由に議論することを推奨し求めます。

【授業外学習】

事前学習：授業で扱うトピックについて、インターネットや書籍で調べ、各自、何が問題と思うかを考えてきてください。また、事前に資料を配布する場合は、その資料を読み、疑問点や違和感を言葉にしておいてください。

事後学習：授業内容について疑問に思ったり違和感を持ったところを調べ、自分でさらに考えたり、教員や参加者に投げかけるようにし、期末レポートの作成につなげていくとよいです。

履修上の注意/Notes

- ・出席は、一定回数（初回授業で告知）以上を成績認定の必要要件とするが、それ以外の点で成績評価に反映することはしない。
- ・遅刻・早退は、授業開始時刻と終了時刻の30分を用途に判断し、3回につき欠席一回の扱いにする。
- ・オフィスアワー：授業後・講義を行った教室

情報端末の活用

コロナウィルスの感染状況次第では、通信機器環境（スマホ、PC、タブレット端末）を求める可能性がある。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：生命倫理の主旨と課題を十分に理解し、到達目標に達するきわめて優れた学習成果を実現している。
- A：生命倫理の主旨と課題を理解し、到達目標を達する優れた学習成果を実現している。
- B：生命倫理の主旨と課題を部分的に理解し、到達目標に概ね達する学習成果を実現している。
- C：生命倫理の主旨と課題の理解は十分でないが、到達目標に最低限達する学習成果を実現している。
- D：到達目標に達する学習成果を実現していない。

成績の評価方法/Grading

- 授業中の取り組み（議論への参加や課題の提出など）・・・40%
- 学期末レポート・・・60% ※期末試験は実施しません

教科書/Textbook(s)

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	△
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎

実践的英語力	△
社会人としての姿勢	◎
地域活性化志向	○

アクティブ・ラーニング型科目

○

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

日本語

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--